



京都 在宅医療

検索

詳細は順次、京都医報、当センターホームページでご案内いたします。

かかりつけ医認知症対応力向上研修(集合研修)

対象：医師・多職種

北部会場

【と き】11月24日(土) 14:00～17:30
【ところ】ホテル北野屋(宮津市)
【講師】日置医院 院長 日置 潤也氏
安井医院 院長 安井 俊雄氏
京都府医師会 理事 西村 幸秀氏

京都市内会場

【と き】2019年2月23日(土) 14:00～17:30
【ところ】京都府医師会館 310会議室
【講師】北山病院 院長 澤田 親男氏
京都府立医科大学附属病院 精神科・心療内科
併任教員 柴田 敬祐氏

かかりつけ医認知症対応力向上地域連携研修

対象：医師・多職種

東山医師会開催

【と き】12月1日(土) 14:00～17:30
【ところ】京都府医師会館6階 601・602会議室
【講師】あずみ医院 院長 安住 有史氏
手越医院 院長 手越 久敬氏
林医院 院長 林 純子氏

京都北・上京東部・西陣医師会開催

【と き】2019年1月19日(土) 14:00～17:30
【ところ】青蓮会館
【講師】たなか往診クリニック 院長 田中 誠氏
竹上内科クリニック 院長 竹上 徹氏
京都博愛会病院 精神科 副院長 佐々木 学氏

船井・亀岡市医師会開催

【と き】2019年3月2日(土) 14:00～17:30
【ところ】京都中部総合医療センター5階 講堂(南丹市)
【講師】亀岡シミズ病院 メンタルヘルス科 院長 島田 稔氏
亀岡病院 神経内科 部長 森 信人氏
京都中部総合医療センター 内科・総合内科
統括部長・内科部長・在宅医療センター 院長 佐藤 克明氏

認知症対応力向上多職種協働研修 (アドバンス研修)

対象：医師・多職種

下京西部医師会開催

【と き】10月20日(土) 14:00～17:00
【ところ】京都リサーチパーク
【事例発表者】下京西部医師会、京都府医師会 理事 關 透氏
【コメンテーター】下京西部医師会、京都府医師会 理事 西村 幸秀氏
下京歯科医師会 副会長 林 誠司氏
下京南薬剤師会 調整中

中京西部・中京東部医師会開催

【と き】2019年2月16日(土) 開催予定

認知症サポート医フォローアップ研修

対象：医師

北部会場

【と き】10月6日(土) 14:00～17:00
【ところ】サンプラザ万助(福知山市)
【講師】京都大学医学部附属病院 緩和ケアセンター緩和医療科
京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻、
准教授 谷向 仁氏 他

南部会場

【と き】2019年3月9日(土) 16:30～19:30
【ところ】京都府医師会館 310会議室
【講師】高知大学医学部 神経精神科学教室
教授 数井 裕光氏 他

主治医研修会

「脳卒中サイバーの待ち受けるもの、踏み越えるべきもの」 「話す・食べるを知る」

対象：医師・多職種

【講師】京都桂病院 脳神経内科 部長代行 富井 康宏氏
京都桂病院 リハビリテーションセンター
言語聴覚士 主任 久保 陽介氏
【と き】2019年2月2日(土) 14:30～17:30
【ところ】京田辺市商工会館 CIKビル

在宅医療9月、10月の研修会のご案内

第2回 総合診療力向上講座 「咳問診票からCOPD・禁煙支援、 そしてがん検診からACPへ」

対象：医師

【と き】9月22日(土) 14:30～16:30
【ところ】本会場：京都府医師会館3階 310会議室
北部会場：サンプラザ万助(福知山市)
南部会場：京田辺市商工会館 CIKビル[301・302]
【講師】市立福知山市民病院 研究研修センター長
総合内科医長 川島 篤志氏

京都医報、
案内チラシ、
当センターの
ホームページで
申込受付中です

第2回 京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～ 「在宅医療での神経診察」

対象：医師・看護師

【と き】10月7日(日) 10:00～13:00
【ところ】京都府医師会館3階 310会議室
【講師】総合病院国保旭中央病院 理事 副院長 総合診療内科部長
教育研修部長 臨床教育センター長 塩尻 俊明氏

第3回 京都在宅医療塾Ⅱ～実践編～ 「在宅における尿路管理のコツ」

対象：医師

【と き】10月18日(木) 18:00～20:00
【ところ】京都府医師会館5階 京都府医療トレーニングセンター
【講師】井上医院 院長 井上 亘氏
洛和会音羽リハビリテーション病院
在宅医療支援センター センター長 谷口 洋貴氏

在宅医療に関する質問があればお問い合わせください。サポートセンターと保険医療課で連携し回答いたします。

お問い合わせ、ご意見及びご感想は

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階
tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケア サポートセンター news

Vol.25

2018年9月15日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター news は奇数月15日の発行です。
※当センターホームページにてバックナンバーがお読みいただけます。

Main menu

- ◆平成30年度 第1・2回京都在宅医療塾Ⅱ～実践編～開催報告(P.2)
- ◆平成30年度 第1回京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～開催報告(P.2)
- ◆平成30年度 ご家族向け介護セミナー開催報告(P.3) ◆<在宅医療あれこれ…>(P.3)
- ◆平成30年度 研修会予定のご案内(P.4)

平成30年度 第1回 総合診療力向上講座 開催報告



岡山大学病院 副院長
岡山大学大学院
医歯薬学総合研究科
総合内科学 教授
大塚 文男氏



質疑応答にもしっかりと
お答えいただきました。

7月21日(土) 京都府医師会館にて、「見逃しやすい内分泌疾患の心得」と題し、岡山大学病院 副院長/岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 総合内科学教授・大塚 文男氏にご講演いただき、184名(うち、北部会場20名・南部会場11名)の先生方が受講されました。

ご講演の中で、まず内分泌疾患の診断においては臓器別アプローチではなく、全身を診る必要があること、病歴を単に聴くのみでなく、鍵となる病歴を「聴き出す」ことが重要であると述べ、症候学・異常値、検査所見から想起される内分泌疾患を紹介されました。

さらに、先端巨大症や下垂体疾患(高PRL血症、クッシング病等)の症例を提示され①ホルモンの影響を全人的に診る②ホルモン高値の真偽を診る③全身倦怠感の鑑別から診る一という内分泌疾患の診断ポイントについてご講演いただきました。最後に、多臓器にわたる横断的な病態・疾患を対象とする内分泌学には、常にEndocrinologistとGeneralistの2つの視点が必要であることを述べられた後、臨床で生かせる採血前の検査データの変動要因やできるだけ同時測定で評価すべき項目について紹介されました。治療にあたっては、ホルモン分泌は過剰も不足も問題であるが、「正常化することを急ぎすぎないこと」「数値の正常化でなく全身状態から判断すること」が重要であることをご教授いただきました。



北部会場



南部会場

●受講者の声● (受講後アンケートより抜粋)

- なんとなく内分泌の事を念頭において、日常診療にあたる必要性を感じた。
- 新しい知識を得ることができて良かった。症例提示が印象的だった。
- 整理された知識をもった上で不定愁訴に対応するべきということがよく分かりました。
- 内分泌疾患に目を向けるきっかけになりました。
- 診察連携に必要なポイントを教えていただきました。診断率を上げる採血セットの紹介はありがたかったです。

平成30年度 第1・2回京都在宅医療塾Ⅱ ～実践編～ 開催報告



洛和会音羽リハビリテーション病院
在宅医療支援センター長
谷口 洋貴氏

基礎講義のあとは
エコーのレクチャーを行って
いただきました。

訪問看護認定看護師
勝本 孝子氏からは
「慢性疾患を支える」をテーマに
お話しいただきました。

7月26日(木)と8月22日(水)、京都府医師会館5階 京都府医療トレーニングセンターにて、平成30年度京都在宅医療塾Ⅱ～実践編～(第1回、2回)を開催し、第1回目は医師33名、第2回目は医師29名にご参加いただきました。

今年度の本研修会はシリーズを通じて、テーマごとに在宅での超音波診断装置(以下、エコーとする)を活用した診断について学ぶ内容になっております。

第1弾として、洛和会音羽リハビリテーション病院 在宅医療支援センター センター長 谷口 洋貴氏を講師に迎え、「心電図・心エコーを使用する前にバイタルサインでここまで診

れる—この症状は赤信号?黄色信号?青信号?—」をテーマに開催いたしました。

今回、普段心エコーの診断をしているが更に学びを深めたい先生と基礎から学びたい先生とで実習を行い、参加した先生同士で学びあう活気のある研修会となりました。

第2弾は、テーマを「在宅における尿路管理のコツ」として、在宅療養の質に大きく影響する高齢者の排尿に関する様々なトラブルへの対応や尿路感染の治療について、泌尿器科疾患の診断に役立つエコーの活用などご講演いただきます。是非、ご参加ください。



実技演習の様子

● 受講者の声 ● (受講後アンケートより抜粋)

- 心エコーの実習がとても分かりやすく、ありがとうございました。
- 腹部エコーは毎日していますが、心エコーはほとんどしていませんので勉強になりました。
- 実際に手技を体験できたのは良かった。

平成30年度 第1回京都在宅医療塾Ⅰ ～探究編～ 開催報告



洛和会丸太町病院
救急・総合診療科
部長 上田 剛士氏

8月5日(日)、洛和会丸太町病院 救急・総合内科部長 上田 剛士氏を講師に迎え「医者じゃなくても知っておいてほしい 急変させないための知識」と題し、研修会を開催。医師104名・看護師98名が参加されました。

限られた医療機器で対応する在宅療養現場での急変への対応ということで、①バイタルサイン、②発熱患者の重症度評価、③熱中症予防、④脱水対策、⑤心不全の治療・ケアについて、また入院のタイミングや入浴中突然死を防ぐためのトリアージのポイントなど、症例をもとに明解にご講演いただきました。

予定時間いっぱいまでご講演いただいたため、参加者アンケートに記入された質疑応答は、後日「洛和会丸太町病院 救急総合診療科 非公式HP」にて回答していただきました。内容は、左記QRコードからご確認、または検索エンジンにて「第1回京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～での質疑応答」で検索ください。

洛和会丸太町病院 救急・総合診療科 Facebookページ(アカウント名@marutagim)からもご覧いただけます。



平成30年度 ご家族向け介護セミナー 開催報告

本セミナーは、例年、京都市からの委託事業として、京都府歯科医師会、京都府看護協会、京都府歯科衛生士会などの関係団体のご協力を得て、在宅で介護を実施しているご家族または今後在宅での介護が必要となるご家族を対象に年に10回、専門家による講義や実技・体験を交えた講習会を開催しています(今年度の日程は右記参照)。各回15名～20名の参加があり、受講者からは「実技で参考になることを多く学ぶことができました」、「先生方にご丁寧にご指導いただき、自分が体験しないと

分からない経験ができました」などのお声をいただいております。

患者さん等で参加をご希望される方がいらっしゃいましたら、是非ご案内ください(一般の京都市民対象)。

開催日	テーマ	
6月	26日(火)	誤えん性肺炎予防 終了
7月	11日(水)	床ずれ予防 終了
	24日(火)	食事の工夫 終了
8月	8日(水)	腰痛予防 終了
	29日(水)	爪・皮膚のケア 終了
9月	6日(木)	薬の飲み方 終了
	20日(木)	たん吸引 受付中
10月	3日(水)	お口の健康 受付中
	31日(水)	認知症 受付中
11月	6日(火)	排泄ケア 受付中



第3回「食事の工夫」
実践の様子



第4回「腰痛予防」
実践の様子

私は整形外科・リウマチ科が専門領域ですので、ご近所の方に直接頼まれて訪問診療をすこしだけ、という「なんちゃって在宅医」です。「治す」医療の本分を全うできない宿命を背負った在宅医療ですが、ちょっとしたふれあいが、次へと向かう活力になります。そういうわけで在宅ばかりではありませんが、数少ないエピソードを少し。

ふらと受診されたのですが、今回の主訴は腰痛。腰を診ている場合ではないけれども、敬意を表して診察はレントゲン台で、マットの上にタオルケットを2枚ひいてレントゲン撮りながら診察して、その場で説明。「入院しなくていいの?」と聞いたら「もうちょっと家にいたい。入院したら最期やる?もう帰って来られへんし」とおっしゃいました。お別れに来ていただいたのだと思っています。ご主人は痛風、変形性膝関節症、CKDがあったので「お父さんをよろしく」という意味もあったのかもかもしれません。

お役に立てることはほとんどありませんし、かえってご迷惑をかけてばかりですのにありがたいような、申し訳ないような。

山下医院から西へ3軒目は東寺北門横の石でできたお不動さんで、毎日4回以上は前を通ります。「死」を考え出すと人生もかわってくるものです。素通りしていた人間が急に水かけたり

釘鳴らしたりするのははずかしいので、「ありがとうございます」とあたまを下げています。

「エピソード その1」 骨粗鬆症治療薬の初回服用で39℃熱発したとのことで、お電話いただきました。血液検査結果見ると血小板68,000、すぐ病院受診していただきました。2日後には160,000まで回復して事なきを得ました。「すいませんでしたよ良かった」でしたが、この方は京都喉友会(喉頭摘出者団体 発声訓練の会、第二の声を獲得して社会復帰を目指す)で四半世紀にわたり唱歌指導の奉仕されておられたそうです。ご自分で編集・出版した歌集をくださいました。

「エピソード その2」 肝硬変の50代女性。たま～に、どこか痛いを受診されること20年以上。見るからにふら

在宅医療 あれこれ

— vol.3 —

ちょっとした
ふれあいが活力に



山下 琢氏
京都府医師会理事
山下医院 院長